



2018 年 8 月 6 日

SUPER GT 第 5 戦、Audi R8 LMS が激走するも入賞を逃す

- Audi Team Hitotsuyama は予選 5 位スタート、6 位入賞目前でタイヤトラブルに泣く
- Team TAISAN は予選 15 位から着実に順位をあげるも、トラブルによりリタイヤ

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：斎藤 徹）は、Audi R8 LMS で 2018 年シーズンの SUPER GT の GT300 クラスに参戦する 2 つのカスタマー（プライベート）チームをサポートしています。8 月 4 日（土）、8 月 5 日（日）、富士スピードウェイ（静岡県 1 周 4,563m）で 2018 SUPER GT 第 5 戦となる「FUJI GT 500mile RACE」が開催されました。

今年の SUPER GT GT300 クラスに Audi R8 LMS で参戦するのは、#21 Audi Team Hitotsuyama（アウディ チーム ヒトツヤマ）と、#26 Team TAISAN（チーム タイサン）の 2 チームです。夏休み期間中の開催となった今大会には、予選、決勝の 2 日間でのべ 60,400 人もの観客が来場しました。

予選、決勝ともに晴天に恵まれました。SUPER GT の予選は Q1、Q2 の 2 回の走行で競われるもので、Q1 の上位 14 台のみが Q2 に進出できるノックアウト方式を採用しています。今大会は 500 マイル（約 807km）とシーズンで最長のレースのため、レース全体を 5 つのスティントに分けて、4 度のピットストップが義務付けられていました。#26 Team TAISAN は、元 F1 ドライバーでありチームのスーパーバイザーである中野信治選手を 3rd ドライバーとして起用し、猛暑の中でのレースをレギュラードライバーの 2 人と力を合わせ 3 人で長丁場を走りきる戦略を取りました。

#21 Audi Team Hitotsuyama は、リチャード ライアン選手が Q1 のタイムアタックを行いました。Q1 は 1 分 38 秒台になると 19 台のマシンがひしめく大接戦の中 14 位に滑り込み Q2 へ進出。そして Q2 にニュータイヤで挑んだ富田竜一郎選手が、残り 1 周で見事な走りをみせ予選 5 位のポジションを獲得しました。決勝レースは、第 1、3、5 スティントをライアン選手が、第 2、4 スティントを富田選手が担当する戦略をとりました。両選手とも猛烈な暑さの中、コンスタントに走り続け、またチームもピットワークをうまくこなし、スタートからおよそ 2 時間半後には 6 位のポジションにつけていました。最終、第 5 スティントに向けてライアン選手がピットアウトしたタイミングで、GT500 のマシンとの接触をさげコースアウトした瞬間に、#88 号車に抜かれ一時は 7 位に順位を落とすも、ここから猛追が始まり、レース終盤残り 5 週のタイミングでライアン選手が 1 コーナーで前を走っていた #88 号車のインを差し、見事に 6 位入賞圏内に振り返りました。しかし、その週の 13 コーナーで、タイヤが突然パンクしてしまい緊急ピットイン。タイヤを交換し、ボディに受けたダメージを応急処置してコースに復帰し完走は果たしましたが、14 位と悔しい結果となりました。

#26 Team TAISAN は、予選 Q1 は、川端伸太郎選手がアタックを担当。Q2 進出まで一歩及ばず、15 位という結果でした。紙一重で Q2 に進出した #21 Audi Team Hitotsuyama とのタイム差は、なんと 0.04 秒というものでした。決勝では第 1、4 スティントを川端選手、第 2、5 を山田真之亮選手、真ん中の第 3 スティントを中野信治選手が担当する戦略でした。第 1 スティントでいきなりライバルチームにぶつけれられてしまうアクシデントにあいながらも、チームは粘り強く走り続け、一時は 12 位までポジションをアップ。第 3 スティントを任された中野選手も Audi R8 LMS では初レースながらもさすがの元 F1 ドライバーの走りでチームを牽引しました。その後、第 4 スティントの川端選手へとドライバー交替し、ニュータイヤに交換してコースへ復帰。しかし 4 周目の 100R でリアタイヤのトラブルが発生。マシンはピットまで戻ることができず、残念ながらリタイヤという結果となりました。

Audi Team Hitotsuyama 一ツ山 亮次チーム代表のコメント

「長いレースでしたし、ライバルチームの様子をみながら作戦を進めていました。ライオン選手も富田選手もいい走りをしてくれて、チームもピットインを終えるごとに順位をあげることができたので、戦略に間違いはなかったと思います。それだけに今回のタイヤトラブルは想定外でした。次までに早急に対策を進めたいと思います。菅生の前に鈴鹿 10 時間があります。海外から 20 台ものワークスチームが参戦する予定です。いい機会ですし気持ちを切り替えてベストを尽くしたいと思います」

Audi Team Hitotsuyama リチャード ライオン選手のコメント

「予選はこれまでにないくらい激戦の状態。富田選手が素晴らしい仕事をしてくれました。決勝レースでのマシンのフィーリングも悪くありませんでした。第 1 と 3 スティントはチームの戦略をしっかりと実行するために無理をしないで、最終は先行車のタイヤの性能が落ちてくるのはわかっていました。少しづつ間合いをつめて狙いどおりパスして、あとは差をキープしようと思った瞬間にタイヤ警告灯がついてしまった。とても残念ですが諦めないのが自分の哲学。次もプッシュし続けていきます」

Audi Team Hitotsuyama 富田 竜一郎選手のコメント

「とても拮抗した状況にある予選で Q2 に進めたのはとてもラッキーでした。今週はレース用のセットアップを進めてきたので、予選には少し不安はあったのですが、自分のイメージした走りができるいい結果が出ました。決勝のペースも悪くはありませんでしたが、ゴールまでわずか 5 周をつなぎきれなかったことが、たくさん来てくださったアウディ ファンに申し訳ない気持ちです。鈴鹿 10 時間では日本を代表するアウディ チームとしてファンのみなさんに喜んでもらえるような結果を出したいと思います」

Team TAISAN スーパーバイザー 中野 信治選手のコメント

「Audi R8 LMS では初めてのレースでしたが、バランスは決して悪くありませんしトップ 10 を狙える性能は十分に感じとることができました。ただ、第 1 スティントでぶつけられてしまったことで、マシンのバランスを崩してしまい今週は流れがありませんでした。レーススティントを経験したことでだいぶマシンに慣れることができました。次回チャンスがあればさらにいい走りをお見せしたいと思います」

Team TAISAN 山田 真之亮選手のコメント

「今週は流れがよくありませんでした。他車にぶつけられたダメージやタイヤ選択のミスもあって思うようにラップタイムがあがりませんでした。もう少しいいペースで走ることができるイメージがあっただけにとても残念ですが、次につなげていきます。菅生以降の残りのコースはマシンにとってもぼくにとっても得意なコースばかりなので、自分たちを信じて頑張ります」

Team TAISAN 川端 伸太朗選手のコメント

「予選では新スペックのタイヤが投入されて、Q2 には進出できませんでしたが上位とも僅差で次戦への可能性を感じています。今日は第 1 スティントでぶつけられた時点で上位進出は難しい状況でしたが、それでも最後まで走り続けたいと思っていたので残念です。原因を追求して次につなげたいです。スーパーGT の次戦菅生は Audi R8 LMS にあったコースなので、上位に食いこめるよう準備を進めます」

アウディジャパンは Audi Sport customer racing パーツトレーラーを現地に配備して、SUPER GT に参戦するチームを支援しています。専用のトレーラーにボディ、エンジン等レース車検に適合した約 2500 アイテム、約 8000 点もの部品を積載し、いかなるレース展開にも対応できるようチームと共に全国のサーキットを転戦します。SUPER GT ならびにスーパー耐久シリーズへの参戦チームのサポートを通じて、アウディのサブブランドである Audi Sport のブランド認知の向上、イメージの強化をはかります。

SUPER GT 第 6 戦は、9 月 15 日 (土) ~16 日 (日)、スポーツランド SUGO にて開催予定です。また、8 月 25 日 (土) ~8 月 26 日 (日) には、初開催となる「鈴鹿 10 時間耐久」レースが実施されます。Audi Team Hitotsuyama をはじめ、海外から Audi Sport チームなど 4 チームが参戦予定です。